

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ぽかぽか広場太田（児童発達支援）		
○保護者評価実施期間	2026年2月16日		～ 2026年2月25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○従業者評価実施期間	2026年2月16日		～ 2026年2月25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月10日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	毎月、色々なイベントやレクリエーションを企画しているため、それを利用者様が楽しみにしてくれており、登所のモチベーションに繋がっている。	・利用者様全員ができる課題を提供し、参加を促す工夫をしている。 ・固定化しないように工夫している。	イベントやレクリエーションを通して、利用者様同士が仲良く助け合っているようにしていく。
2	普段の活動の様子をHPのブログ等や毎月発行している通信にて発信したりと、利用者様が事業所内で過ごしている活動の内容・様子をオープンに伝えられている。	外出先が偏らないよう、下調べ等調査を念入りに行なっている。	室内の環境設定等、利用者様に合わせた環境を整えていく。
3	保護者の方が抱えている悩みやニーズを職員が適切に把握できており、適宜そちらに寄り添った面談の機会を設けたり、必要な助言を行なっている。	夏祭り等、保護者の方も参加できるイベントがある。	他事業所の取組み等、参考になる内容を取り入れていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所内の活動スペースがやや狭く、活動の内容によっては利用者様が窮屈に感じることがある。	宿題が終わった後に身体を動かしたい利用者様が多くいらっしゃるため、動きたい人と落ち着いて遊びたい人で活動スペースを分けられるようにしていく。	カーテン等で視覚的に遮断するなどの工夫を検討する。
2	適宜、保護者の方との面談や相談に応じる機会を設け、必要な助言等を行なっているが、保護者会やペアレントトレーニング等、保護者の方向けのイベントや研修等を実施する機会が乏しい。	お仕事の合間に参加してくれている保護者の方々もいらっしゃるため、ご意見を聞いて取り組んでいく。	・少しずつ保護者の方向けのアンケート等を実施する機会を設けることで、研修会をよりご意見の反映されたものにしていくようにする。 ・保護者の方のニーズを把握し検討していく。
3	地域の施設(放課後児童クラブ等)との交流の機会が乏しい。	児童館等での活動は取り入れているが、個人差がとて大きいので、ため一斉に交流をしようとするのは難しい。	児童館等で、他の利用者の方とのコミュニケーションを通して、現場の環境を考慮しつつ行なっていく。

## 公表 事業所における自己評価結果

事業所名	ぼかぼか広場太田		公表日		2026年3月30日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10 100%		利用者の成長とともに、活動内容によって狭さを感じる場面もあるが、その際は適宜相談室等を活用し対応している。	相談室等を活用していくことでスペースを確保していく。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	10 100%			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9 90%	1 10%	室内と出入口に段差があるため、声掛けを行なっている。また、玩具等は別室に保管しているため、活動に集中できている。	段差への注意や声かけを行う。玩具は床に転がっていないようにする。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9 90%	1 10%	毎日欠かさず清掃をし、玩具やドアノブ等の消毒を行っている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10 100%		聴覚に過敏がある子、集中が難しい子に対しては、適宜相談室を使用しての個別対応を行なっている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	10 100%			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10 100%		アンケートを実施し、保護者の方の意向を把握できるよう努めている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10 100%		月1回の職員会議や管理者との1on1など、職員同士が円滑にコミュニケーションを行うための機会を設けている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	10 100%			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	10 100%		毎月ジョブモデルにて研修を実施している他に、定期的に外部研修も受講している。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10 100%			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	10 100%		利用者様からの聞き取りは難しい場合もあるため、保護者様から利用者様の思いを代弁してもらいながら分析を行い、作成にあたっている。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10 100%		児童発達支援管理責任者が会議を開き、職員の意見も参考に作成している。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10 100%		個別支援計画書に職員全員が目を通して確認を行ったうえで支援を行なっている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10 100%		都度記録を行い、個別ファイルに保管し閲覧できるようにしている。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10 100%			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10 100%		職員同士意見を出し合っている。	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10 100%		毎月内容が異なるレクリエーションを考案し、実施している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	10 100%			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10 100%		支援開始前にミーティングを行い、確認している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	10 100%		支援開始後にミーティングを行い、確認している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10 100%		日々ミーティングノートに記録しており、適宜職員が確認を行える。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10 100%			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9 90%	1 10%	児童発達支援管理責任者を中心に参画している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9 90%	1 10%		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9 90%	1 10%		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	10 100%		就学前には、就学予定の学校の先生や保護者の方を事業所にお招きし、児童発達支援管理責任者との面談・情報共有を行っている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5 50%	5 50%		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4 40%	6 60%	個人差が大きい為、一斉に交流をする機会を設けるのは難しい。	外出支援の際に児童館等での活動を行う機会を継続し、コミュニケーションを通じて現場を見てもらう。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10 100%			
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3 30%	7 70%	お仕事の合間に参加して下さっている保護者の方々もいらっしゃるため、ご意見を聞いて取り組んでいく。	少しずつ保護者の方向けのアンケートを実施し、保護者の方のニーズを把握し検討していく。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10 100%		契約時にお伝えしている。	
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10 100%		入所前に面談を行い、利用者様・保護者の方の意向を確認するようにしている。		

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	10 100%		送迎時や保護者様の来所時に説明を行い、同意を得ている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10 100%		お迎え時や電話・SNS等を活用し、応じている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5 50%	5 50%	保護者会は開催していないが、夏祭り等のイベント時に交流の機会を設けている。	夏祭り等のイベントを中心に、保護者の方向士の交流の機会を継続して設けていく。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10 100%		相談をいただいた際には、職員間で共有し、報告対応するようにしている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	10 100%		毎月、通信およびイベント詳細を発行し、お知らせしている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10 100%			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10 100%			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3 30%	7 70%		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10 100%		職員が適宜マニュアル各種をすぐに関覧できるようにしている。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10 100%			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	10 100%			
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10 100%		契約時に保護者の方へ確認している。服薬の際は、職員2人体制で確認を行っている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10 100%		アレルギー表を職員室・活動室に提示し、職員が把握できるようにしている。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10 100%			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10 100%		ヒヤリハット報告書に記録し、職員間で共有し、再発防止に努めている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10 100%		職員全体で同一の研修を受け、情報を共有し、対応できるようにしている。防犯カメラが設置されている。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	10 100%		万が一の際は職員複数名で対応し、誤った対応にならないようにしている。		

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ぽかぽか広場太田

公表日 2026年3月30日

利用児童数 2

回収数 2

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	2 100%					
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	2 100%					
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	2 100%					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	2 100%					
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	2 100%					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	2 100%					
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	2 100%					
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	2 100%					
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	2 100%					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	2 100%					
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。			1 50%	1 50%		
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	2 100%					
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	2 100%					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	2 100%					
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	2 100%					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	2 100%					
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	2 100%					
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1 50%			1 50%		

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	2 100%					
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	2 100%					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	2 100%					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	1 50%	1 50%				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	2 100%					
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	2 100%					
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	2 100%					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	2 100%					
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	2 100%					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	2 100%					
	29	事業所の支援に満足していますか。	2 100%					